

2004年4月1日～2024年12月31日の間に 胃癌と診断され治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「急速発育胃癌：Rapid growth stomach cancer (RAGSC)の臨床的・内視鏡的特徴の検討」 へのご協力のお願—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会および一般財団法人淳風会臨床研究審査委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。

研究責任者（全体） 川崎医科大学 検査診断学（内視鏡・超音波）教授 眞部 紀明
研究責任者（淳風会） 淳風会健康管理センター センター長 井上和彦
研究分担者（淳風会） 淳風会健康管理センター 吉原正治
淳風会健康管理センター 笹井貴子
淳風会健康管理センター 湯本英一朗
淳風会ロングライフホスピタル 院長 久本信實
淳風会健康管理センター倉敷 センター長 山口佳之
淳風会倉敷クリニック 所長 楠裕明

1. 研究の概要

以前は40歳以上を対象に、年1回の胃エックス線検査による胃がん検診が行われていましたが、2016年に厚生労働省が定めるがん検診の指針が一部改正され、検診対象は50歳以上となり、胃内視鏡検診の検診間隔は2年となりました。多くの胃癌は1～2年では大きな形態変化は生じませんが、中には短期間で急速に増大する症例も存在しており、胃内視鏡検診の間隔が2年となったことから、急速に増大する症例の臨床病理学的特徴を明らかにする必要がありますと考えています。

急速に変化した胃癌の臨床的・内視鏡的特徴を明らかにすることを目的とし、川崎医科大学総合医療センター・川崎医科大学附属病院および淳風会健康管理センターなどの分担施設において、最終的に胃癌と診断され治療を受けた症例を対象とします。そのうち診断日から過去3年までの期間に上部消化管内視鏡検査を施行した症例を抽出し、外科的治療が行われた症例と、内視鏡的治療が可能であった症例とを比較することでそれぞれの内視鏡所見、臨床像、病理学的特徴を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2004年4月1日～2024年12月31日の間に川崎医科大学総合医療センター・川崎医科大学附属病院および淳風会健康管理センターなどの共同研究機関で胃癌と診断され治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において胃癌の診断を受けられた方で、診断日から過去3年間までの期間に上部消化管内視鏡検査を施行されている患者を選び、診療情報をもとに患者背景、内視鏡画像、病理組織像の分析を行います。

本研究は、既に取得済みの試料・情報を使用するものであり、患者様ご自身に来院していただくことはありません。

4) 使用する試料・情報の種類

内視鏡的特徴（病変部位、深達度や進行度、*H. pylori* 感染の有無と除菌歴、胃炎の京都分類に基づいた内視鏡所見、食道胃接合部の内視鏡所見、病理組織型）、使用スコープ、施行医情報を比較検討します。

③各病理組織検体の免疫染色を行い、急速に変化する胃病変の病理組織学的特徴を見だし病態を解明します。

④臨床的・内視鏡的・病理学的特徴に応じた検診間隔を検討します。

情報：年齢、性別、診断時の身長・体重、飲酒・喫煙歴、症状、病歴、治療歴、内服薬 等

試料：生検で得られた組織、手術で摘出した組織等

5) 試料・情報の保存及び二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年6月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 中央検査科

氏名：眞部 紀明

電話：086-225-2111 内線48057（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：n_manabe@med.kawasaki.m.ac.jp

<問い合わせ・連絡先（淳風会）>

淳風会健康管理センター

氏名：井上 和彦

電話：086-226-2666（平日：8時30分～17時10分）

ファックス：086-226-0370

E-mail：inoueki@junpukai.or.jp

<研究組織>

研究代表機関名 川崎医科大学 検査診断学（内視鏡・超音波）

研究代表責任者 川崎医科大学 検査診断学（内視鏡・超音波）教授 眞部 紀明

共同研究機関

瀬戸内市立瀬戸内市民病院 病院長 竹内 龍三

医療法人 真庭慈風会 津山中央まにわ病院 理事長 宮島 孝直

一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院 副院長 竹中 龍太

公益財団法人 とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 検診センター医長 青木 利佳

地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 消化器内科医長 依光 展和

社会医療法人 石川記念会 HITO 病院 医長 綾木 麻紀

一般財団法人 淳風会 淳風会健康管理センター センター長 井上 和彦

藤枝市立総合病院 副院長 丸山 保彦 症例提供

尾道市立総合医療センター 公立みつぎ総合病院 内科医師 釜木 信行

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。